

# 旭公民館だより

発行 令和8年4月  
旭公民館  
館長 伊吹 公雄  
電話 45-5903  
FAX 45-5903



## 学びの深化！ 府中市の公民館 UPDATE!! 2 ～「やってみたい」を叶える場所へ～

府中市教育委員会では、教育振興計画において、「生涯を通じて共に学び支え合い、地域づくりに生かす学びの向上」を掲げています。

この方針を受け、令和8年度府中市の公民館の基本目標は、「学びの深化！府中市の公民館 UPDATE!! 2」～「やってみたい」を叶える場所へ～に決まりました。

この目標のもと、旭公民館でも地域のみなさんと共に歩む、学びの場づくりを進めていきます。

### 旭公民館のこれまでと、これから

旭公民館ではこれまで、子育て支援サークルや認知症カフェとの協働、地域団体との行事の共催、健康づくりや文化活動の支援など、地域の「やってみたい」を形にする活動を大切にしてきました。

令和8年度は、以下の3つの柱をもとに、さらに一歩進んだ取り組みを進めていきます。

#### \*住民のやってみたい・学びたいを引き出す。育てる。

→ 参加しやすい講座やサークル支援、アイデア募集などを通じて、誰もが主役になれる場をつくります。

#### \*地域団体・学校・企業・個人との継続した連携

→ 町内会、子ども会、老人会、学校、企業などと協力し、地域の力を活かした学びと交流の機会を広げます。

#### \*広報・DX推進

→ 公民館だよりやSNSなどを活用し、情報発信を強化。デジタル技術も取り入れ、より多くの方に届く公民館を目指します。

旭公民館は、これからも地域のみなさんと共に、「学び」と「つながり」を育む場所として歩んでいきます。

「こんなことやってみたい！」という声を、ぜひお聞かせください。  
一緒に、地域の未来をつくっていきましょう！

昨年度開催した中須町ワークショップでの意見交換の様子



# 公民館から ひろがる地域の輪

～認知症カフェで  
ほっとひと息～

旭公民館で開催中



館長のおじゃまします



3/27(金)は20名の参加がありました

地域の民間介護福祉サービス事業所「ゆうゆう高木」による「認知症カフェ」が毎月第四金曜日の午前10時から旭公民館で開かれています。

このカフェは、認知症の方やそのご家族、地域の方々が気軽に集い、おしゃべりや情報交換をしながら、ほっとひと息つける場所です。

参加者同士が笑顔で語り合い、介護の悩みや日々の出来事を共有することで、「ひとりじゃない」と感じられる、あたたかな時間が共有できます。

🧠 今回のテーマは「成年後見制度」

この制度は、認知症や障がいなどで判断が難しくなったときに、本人の権利や財産を守るための仕組みです。

「どんなときに使えるの?」「手続きはどうするの?」「家族が困ったとき、どうすればいいの?」

そんな疑問に、専門職の方がわかりやすく丁寧に説明してくださいました。

参加された方からは、こんな声が聞かれました：

「参考になった。制度があることを知っておくことは大事ですね」「今日の参加者はみんな元気なので、今すぐ必要ではないけれど、いざという時のために知っておきたい」「こういう話を気軽に聞ける場があるのはありがたい」

🌻 認知症カフェ、こんな方におすすめ！

認知症の家族がいて今後のことが心配な方  
地域でのつながりを大切にしたい方

ちょっとお茶を飲みながら話したい方も大歓迎！

地域のみなさんが安心して暮らせるまちを目指して、  
旭公民館はこれからも、つながりと学びの場を大切にしていきます。



🌸 お気軽に  
ご参加ください

## 🧠 成年後見制度ってなに？

高齢になると、認知症などで判断する力が弱くなり、お金の管理や契約の手続きがむずかしくなることがあります。

そんなときに、本人の代わりに財産を管理したり、必要な手続きを行ったりしてくれるのが「成年後見制度」です。

後見人には、家族や親族のほか、弁護士や司法書士などの専門家が選ばれることもあります。

家庭裁判所が選任し、本人の生活や権利を守るために活動します。

制度には、すでに判断が難しくなった方のための「法定後見」と、元気なうちに将来に備えて後見人を決めておく「任意後見」があります。

「今はまだ必要ないけれど、将来のために知っておきたい」「家族が困ったときに備えておきたい」そんな方にも、知っておくと安心できる制度です。

詳しくは府中市地域包括支援センター(高齢者の方の総合相談窓口)へご相談ください。